

まちなかレンタサイクル実証実験事業について

1 事業概要

項目	内容
(1) 目的	まちなかの回遊性の向上を通じたにぎわい創出を目指し、中心市街地においてレンタサイクル実証実験を行うことで、本市特有のニーズや課題を把握するとともに、採算性を考慮した料金体系や運営補法の検証を行う。
(2) 実施主体	はままつ都市型レンタサイクル推進協議会 浜松市、(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、浜松自転車協会、NPO法人地域づくりサポートネット、浜松商工会議所、浜松まちなかにぎわい協議会、(一社)浜松商店界連盟
(3) 実証実験期間	平成29年1月～平成30年12月(2年間) ※ 平成29年1月21日開始
(4) 施設	① 店舗名 レンタサイクル「はままつペダル」 ② 所在 浜松市中区砂山町7-1(JR高架下) ③ 台数 66台 ・ロードバイク 11台(電動 1台) ・クロスバイク 14台(電動 3台) ・ミニベロ 12台(電動 2台) ・一般 29台(電動 7台)
(5) その他	① 利用促進 自転車メーカーや周辺ホテルとの連携、サイクリングコースマップの作成、ガイドツアーの実施など ② 広報宣伝 SNS・パブリシティの活用、自転車メーカーとの連携

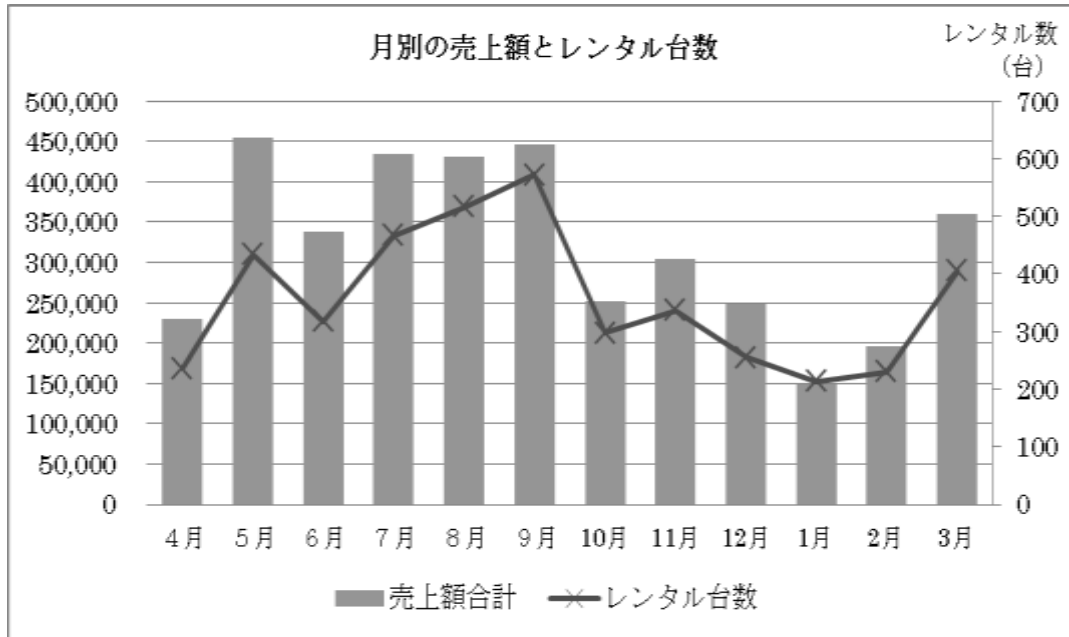
2 事業実績

平成30年9月30日現在

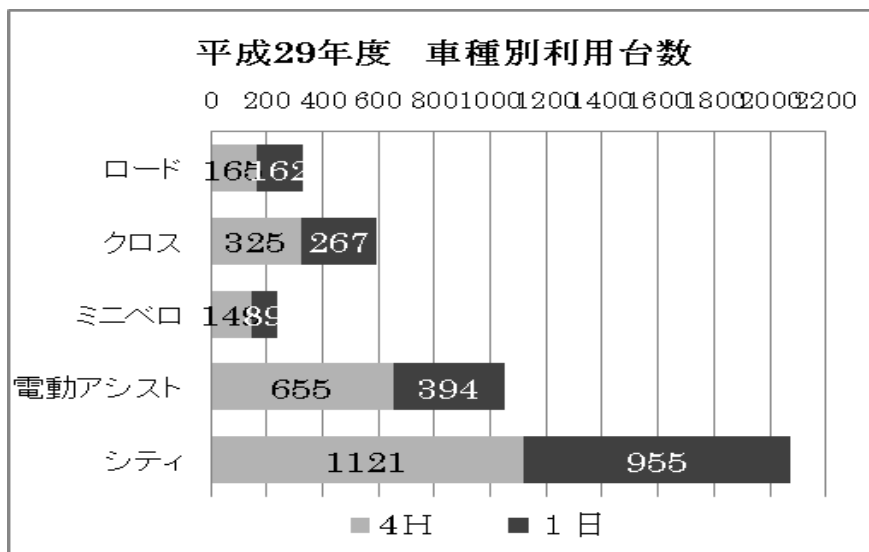
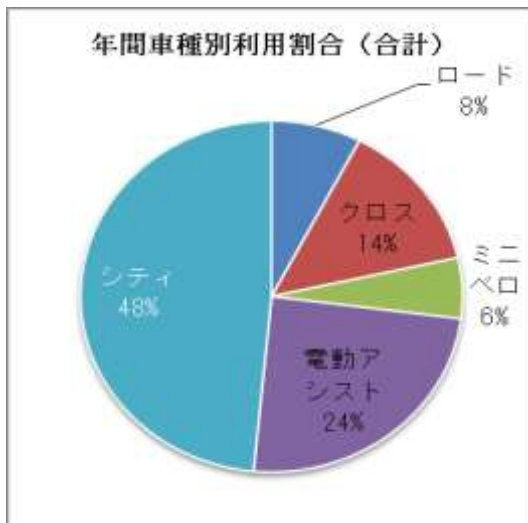
項目	平成28年度 (1月～3月)	平成29年度	平成30年度 (4月～9月)
所有台数	66台	66台	66台
稼働日数	70日	360日	183日
(1日あたり) レンタル台数	(7.3台) 511台	(11.9台) 4,281台	(12.3台) 2,244台
レンタル売上	410,000円	3,693,200円	2,066,700円
その他売上	12,300円	159,252円	82,018円
(1日あたり) 売上合計	(6,032円) 422,300円	(10,701円) 3,852,452円	(11,741円) 2,148,718円
市負担金額	12,000,000円	31,565,000円	23,770,000円 (12月まで)

※ その他売上は、シャワー、ロッカーなど

☆ 平成29年度 月別売上額とレンタル台数



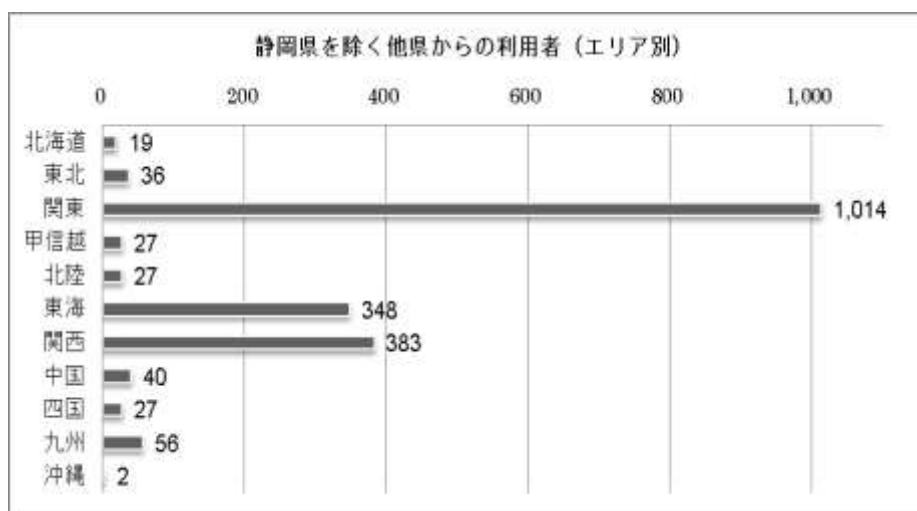
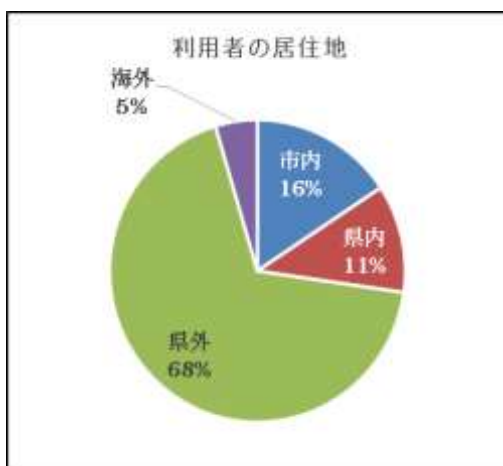
☆ 平成29年度 車種別利用状況



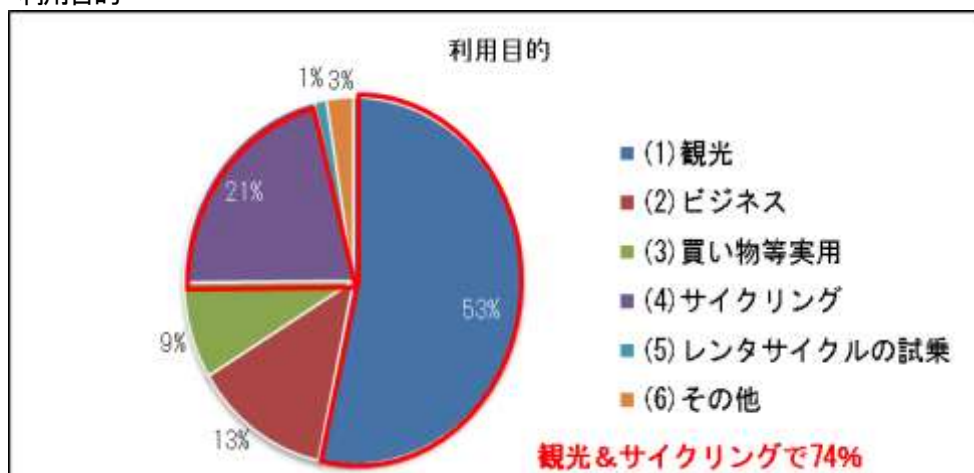
3 利用者アンケート (N=3,017 人)

- ・利用者は、県外からの来客が70%以上。特に関東方面の1都3県が多い。
- ・「はままつペダル」を知った方法は、インターネット (SNSを含む) が50%以上。
- ・日帰りと宿泊は、ほぼ同数であり、宿泊客の中で2泊以上の滞在も比較的多い。
- ・利用目的は、74%が「観光 (53%)」もしくは「サイクリング (21%)」。
- ・目的地は、まちなかや浜松城周辺が53%と高いものの、中田島、浜名湖、佐鳴湖など各方面にわたる。
- ・レンタル料金については、普通が52%、安価と感じている人が44%。

☆ 利用者の居住地



☆ 利用目的



4 事業検証

(1) 目的等について

実証実験の目的とした回遊性の向上を通じた中心市街地のにぎわい創出という点においては、気候の良い休日には所有する 66 台の自転車が全てレンタルされるなど、中心市街地への誘客、交流人口の拡大にある程度の効果をもたらすものとは考えられるが、1 日当たりの利用者数としてみた場合、年間を通しての事業効果としては低いと言わざるを得ない、また、その利用状況から判断すると、浜松城公園などが目的地には含まれてはいるものの中心市街地の回遊性の向上というよりは、観光を主目的としたものである。

(2) 運営方法、料金体系について

- ① 平成 29 年度は、売上収入 3,852 千円に対して 30,029 千円の運営経費がかかっており、運営経費の 87.2%が行政負担となった。
- ② 不動産家賃や人件費等の経費の削減を図ったとしても、平成 29 年度実績の売上収入では、レンタサイクル事業単独での自立した事業運営は難しい。
- ③ 平日と休日、オンシーズンとオフシーズン(12~2 月)のレンタル台数に大きな差があり、また、オンシーズンの休日であっても天候によって大きく左右されるなど、需要が不安定である。
- ④ ②、③を踏まえ、他の事業との複合化が必要である。
- ⑤ レンタル料金については、レンタル台数に比較して売上げが伸び悩んだ。安価に設定したシティサイクルの料金をはじめ、料金体系自体の見直しが必要である。

(3) 施設評価について

ロードバイクやクロスバイク等のスポーツ自転車を充実させた「はままつペダル」は、自転車情報誌などに取り上げられたために全国的にも知名度が上がり、質、量ともに自転車愛好家などを中心に評価は高い。

(4) 結論

本実証実験事業は、本市におけるレンタサイクルのニーズや課題の把握、採算性を考慮した運営方法の検証を目的として実施したもので、本年 12 月の実証実験事業期間をもって終了する。

なお、実証実験事業終了後は、事業検証を踏まえ、魅力発信拠点施設の一部において、はままつ都市型レンタサイクル推進協議会が支援する中で民間事業として展開していく。

5 民間事業への移行

都心ゲートパーク北地区(旧出世の館)において、観光・CP課が魅力発信拠点事業を実施し、平成 31 年 1 月の施設オープンを予定している。

この魅力発信拠点事業の採択事業者が提案する自主事業として、魅力発信拠点施設の一部において、レンタサイクル「はままつペダル」を運営する。

事業検証にもあるように、レンタサイクル事業による収入での運営は厳しいことから、事業支援として、はままつ都市型レンタサイクル推進協議会が所有する自転車及びヘルメットなどの備品については、採択事業者に対して無償で貸与する。

なお、はままつ都市型レンタサイクル推進協議会については、自転車等の所有団体として存続する。